

令和7年第1回定例会総体質問通告事項

3 月 5 日	藤本友行議員（新誠会）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 尾道市のまちづくりについて質問をいたします</p> <p>(1) 令和7年度の予算執行により、10年以上続く全国1,741市町の中でワースト50位前後のランキングの尾道市の「転出超過数」はどこまで改善されるか目標数値を示してください</p> <p>(2) 令和5年度、決算特別委員会で1月末日までと期日を示し求めた各部の成果と問題点の整理と令和7年度の各部の目標数値を示してください</p> <p>(3) 単独世帯が40%を超える時代において、コミュニティ活性化と防災力の強化は待ったなしです。 ここ二年間で尾道市議会議員15名と、多くの市民が求めている現状がある。それなのに、社会で子どもを育てるための予算と仕組みが他市の半分であり、町内会補助金においては、旧2市3町で4倍の格差がある。これらのことを見直ししてないのはなぜでしょうか</p> <p>(4) 尾道市は出生数が約500人、人口が約12万人です。全国平均では、人口が約12万人だと出生数は約700人です。この出生数約200人の差の分析と対策</p> <p>(5) 尾道市は、ここ10年で他市の1.5倍以上で急速に出生数が減少している分析と対策</p> <p>2 尾道市の教育環境について</p> <p>(1) 不登校の割合が全国平均より広島県が高く、広島県より尾道市が高い原因と分析と対策。令和7年度予算執行により、不登校及び教育関係の指数が改善される目標数値を示してください</p> <p>(2) 不登校の割合が高い尾道市の学力が高い分析</p> <p>(3) 多様性を認めようとしなない画一性の強い教育環境が転出超過の原因だと思うが分析と対策 教育のプロである各学校長に、もっと学校現場の運営を任せてはどうでしょうか</p> <p>(4) 教員の書類提出など、管理的業務が多いことが問題となっています。各学校現場から尾道市教育委員会及び県教育委員会に提出する文書は年間何件あり、昨年度見直した件数は何件あったのですか</p>	

